

学 会 記 事

◎定例常議員会 (昭.35.5.27) 出席者：田中会長，本間，富樫両副会長，樋浦，尾之内，西村，牧，船越，田中(清)，佐々木，篠原の各常議員，八十島，末森専務の各理事。常議員 48 名 (出席 11 名，委任状 25 名，計 36 名)。

議事：1) 35 年度会長，副会長，理事 6 名を選挙の結果，当選者次のとおりとなり決定。

会長	沼田政矩君
副会長	滝山養君
理事	阿部一郎君
同	小倉宏三君
同	岡本東一郎君
同	小西一郎君
同	佐藤肇君
同	林泰造君

2) 昭和 34 年度事業報告 (尾之内総務理事説明) を決定。

3) 昭和 34 年度決算報告 (末森専務理事説明) を決定。

4) 規則第 35 条付則「土木賞授与規程」の一部を次のとおり改正に決定。

第 2 条「土木賞はこれを土木学会賞，土木学会奨励賞の二つに分ち，原則として前者は正員，後者は准員および学生員に授与される」とあるを，「土木賞はこれを土木学会賞，土木学会奨励賞の二つに分ける」と改める。

第 6 条「土木賞委員会の委員は常議員会の推薦により会長が委嘱する」とあるを，「土木賞委員会の委員は各地区よりの推薦により会長が委嘱する」と改める。

5) 昭和 34 年度土木賞授賞者の報告を承認。

6) 通常総会に推挙の名誉員 8 氏の推薦を承認。

7) その他土木賞授賞の方式，規格委員会の計画，土木工学の青年者への PR，土木学会の海外への PR 等について話合った。

◎第 46 回通常総会 (昭.35.5.28, 9.30 時 早稲田大学大隈小講堂) 出席者 140 名，委任状 718 名，計 858 名，有権者 13 455 名 (法定数 673 名)。

議事：1) 昭和 34 年度事業報告 (尾之内総務理事説明)，2) 昭和 34 年度事業報告 (末森専務理事説明) 以上 2 案を異議なく承認。3) 名誉員の推挙

前常議員 (理事)	池田嘉六君
同	菊池英彦君
前北海道支部長	斎藤静脩君
前常議員 (理事)	田井九一君
同	高橋甚也君
前中部支部長	永田民也君
前関西支部評議員	村山喜一郎君

前常議員 (理事) 山田隆二君

4) 昭和 34 年度土木賞授与 (詳細次号)，5) 昭和 35 年度新任役員の紹介 (詳細次号)，6) 会長講演 (詳細次号)。

◎第 12 回理事会 (昭. 35.5.18) 出席者：田中会長，本間副会長，尾之内，八十島，比田，小野，川勝，末森専務の各理事。協議事項：1) 昭和 34 年度事業報告および決算報告案を承認。2) 農林省委託「八郎潟干拓の船越水道河口計画」の研究受託を承認。3) 鋼材研究総合連絡委員会委託の「異型鉄筋コンクリート」の研究は受託することとし関係者と話しを進めること。4) 支部よりの名誉員候補者関西支部 村山喜一郎氏，中部支部 永田民也氏を総会に推挙することとし，関東地区も調査すること。5) 支部役員および各種委員委嘱を承認 i) 関西支部常議員改選 岩井重久，近藤 勇，三宅静太郎の 3 氏 (石原藤次郎，玉井正彰，藤田峻五の 3 氏後任)。

ii) 日本学会会議材料試験研究連絡委員会委員に国分正胤氏 (重任) を推薦。iii) 土木技術者資格研究委員会委員交代および新任 紀本正一 (中安米蔵の後任)，小林泰 (山内一郎の後任)，幹事 樽井常忠の 3 氏。iiii) PC 設計施工指針改訂小委員会の設置にともなう委員。

委員長	国分 正胤 (東大土木)
委員	菅原 操 (国鉄土木課)
"	宮崎 義成 (極東鋼弦)
"	山田 順治 (日本セメント)
"	猪股 俊司 (極東鋼弦)
"	三浦 一郎 (国鉄鉄研)
"	川口 輝夫 (国鉄構造物)
"	木村 公道 (オリエンタルコンクリート)
"	小寺 重郎 (国鉄新幹線)
"	白木 良昭 (PS コンクリート)
"	樋口 芳朗 (国鉄鉄研)
"	松野 操平 (道路公団)
"	今村 浩三 (道路公団)
"	丹 泰美 (建，土研)
"	中村 正平 (建，土研)
"	杵掛 哲男 (建，国道課)
"	上前 行孝 (首都高速)
"	宮崎 昭二 (首都高速)
"	小田 純夫 (別子建設)
委員兼幹事	野口 功 (国鉄構造物)
幹 事	井上 六郎 (国鉄構造物)

v) 会誌編集委員会委員長 斎藤義治 (田原保二後任)，文献調査委員会委員長 久野 悟郎 (樋口芳朗後任) の 2 氏。6) 土木賞授与規程の第 6 条「土木賞委員会の委員は常議員会の推薦により会長が委嘱する」とあるを，委員の委嘱は理事会の権限のうちに置くこととし「土木賞委員会の委員は各地区よりの推薦により会長が委嘱する」との改正案を常議員会に諮ることとする。7) 4 月

中の入退会を承認。報告事項：1) 4月末日までの会計報告、刊行物申込一覧、各種委員会の報告があつた。

◎各種委員会

1. 35年度夏期講習会打合せ(35.5.2) 出席者：(学会側)小野、八十島、末森専務の各理事。(関係者)近藤(日本道路協会)、星埜(東大)、三木(東大)、斎藤(建設省)、谷藤(建設省、代沢井)、松尾(建設省)、五十嵐(首都高速)の各氏。(事務局)捧箸、堀内、峰岸、岡本。議事：a.題目「最近の道路問題と高速道路」、b.期日：8月25,26,27日の3日間、会場：虎ノ門共済会館講堂、c.プログラム(会告へ記載)、講習会テキストの要項等を決定、d.映画、見学会等は事務局にて計画することとなつた。

2. PC設計施工指針改訂打合せ(昭.35.5.2) 出席者：国分、川口、猪股、船越の各氏。議事：a) PC設計施工指針の改訂について小委員会の人選を協議。b)各原案をさらに印刷し次回小委員会より審議を開始すること。c)11月に講習会を開くため、9月中旬に審議を終ること。d)小委員会は6月24日第1回を開くこと。e)その他。

3. 第12回会誌編集小委員会(昭.35.5.9) 出席者：田原委員長、奥村(代)、梶野、米沢、吉田の各委員。議事：a)45巻5号のニュースおよび口絵写真の選定、b)45巻6号の会誌内容を最終的に決定。c)その他。

4. 第6回論文集各部委員会(昭.35.5.11) 出席者：最上委員長、西脇幹事、第1部会；奥村部会長、田島、平嶋、井上、伊藤(文)、大久保の各委員。第2部会；竹内部会長、嶋、千秋、藤波、芦田、木村の各委員。第3部会；最上部会長、竹下、山口、高橋(国)、高橋(彦)、渡辺の各委員。第4部会；丸安部会長、伊東、細井、藤井、鈴木、斎藤の各委員。議事：1)審査中原稿の審査報告および新規受付原稿審査委員の決定。2)論文集に広告掲載の件を承認。3)表紙改正案について。4)委員交代の件。5)その他。

5. 第3回土木賞委員会(35.5.14) 出席者：(委員28名中)沼田委員長、新井、五十嵐、小田、加納、田中、谷藤、寺島、星埜、安宅、樋浦、四野宮、米谷、八十島、田原、最上の各委員。経過：1)投票総数28票の有効、無効の整理、2)委員過半数の得点の集計、3)得点の調整、4)以上の経過により授賞論文3編を決定(詳細次号)。

6. 地震工学英文論文集刊行打合せ(昭.35.5.16. 東大生研) 出席者：沼田、岡本、市原、比田(代横山)、久保の各氏、末森専務理事。議事：a)岡本氏および末森専務理事より英文論文集刊行の趣旨を説明し質疑を行なつた。b)B5判約100ページとし、震害表、写真等は巻末につけること。c)発行部数は500部とし、6月末日までに刊行し、国際会議の出席者に配布すること。d)その他出版の細目は事務局編集部と協議する。

7. 年次講演会部門総合講演打合せ(昭.35.5.13) 出席者：八十島理事、田中 清、左合正雄、最上武雄、猪股俊司、村上永一(代)の諸氏、(欠席、斎藤義治)。議事：1)今度の年次講演会に部門総合講演を設けた趣旨を八十島理事より説明。2)講演の形式は自由でその部門の一般情勢を知らせるよう講述すること。3)原稿は用いないが講述はテープレコードしてあとでまとめる。4)スライドを用いることも自由。

8. 第37回耐震工学委員会(昭.35.5.19) 出席者：沼田委員長、岡本、友永、比田(代城所)、篠原(代吉田)、水越(代御牧)、畠山、村、久保の各委員。協議事項：WCEEの準備について、1)プログラムについて、研究所の見学について、朝日イブニングニュースの土木技術の筆者について、発表を9論文とすること、座長としての推薦者等。2)アルバムの製作、展示写真等についての報告。3)協議未了の事項は6月15日に相談すること。

9. 水理研究会講演会報告執筆打合せ(昭.35.5.19) 出席者：吉川幹事長、稲田、嶋、高橋の各氏。議事：5月27日に行なわれる第5回水理研究会講演会の一般報告を7月号会誌へ掲載するため、各氏の間で原稿執筆の割りふりを行なつた。

10. 第6回論文集部会長会(昭.35.5.20) 出席者：最上委員長、竹内部会長、大久保、千秋、山口、細井の各委員、西脇幹事。議事：1)各部会の原稿処理状況を確認、2)論文集69号登載原稿の予定、3)69号・別冊は3編出版することとした、4)69号より表紙を一部変更することを決定、5)69号より図面文字には写真植字を使用することとした、6)委員交代の件を承認、7)その他。

11. 第12回会誌編集委員会(昭.35.5.23) 出席者：田原委員長、八十島部長、末森専務、後藤(東北)、田中(関西)、奥村、梶野、樋口、足立、上東、海保、寺島(代井前)、米沢(代青木)、難波(代尾仲)、都、田村、中村、堺の各委員、斎藤義治氏、杓掛幹事。議事：1)田原委員長より斎藤新委員長を紹介、2)投稿原稿審査報告、3)新規受付原稿審査委員の決定、4)依頼原稿状況、5)編集委員の交代、6)編集委員へのアンケートの結果について、7)45巻7号(増大号)の内容を次のとおり予定した。

会長講演・田中茂美：交通問題と土木事業、部門総合講演・村上永一：最近の道路橋、斎藤義治：日本の高速道路、最上武雄：土質工学の二、三の話題、左合正雄：衛生工学の問題、田中 清：最近の水理学、猪股俊司：日本におけるPC使用の現状、水理研究会：第5回水理研究会講演会報告、総会報告、第15回年次学術講演会一般報告、報告：田中幸二他3名：大阪市高速鉄道4号線の建設計画について一主として高架橋の設計について、西村 豊：大阪市における下水処理事業について、津田敏一：日比谷公園地下自動車駐車場建設工事の概要について、資料：長尾義三・吉川和広：Box-Wilson法による円弧す

べりの計算法—デジタル・コンピューターによる計算—, 寄書: 茨田堤考, その他。

12. JIS に関する打合せ (昭.35.5.23) 出席者: 国分正胤, 有泉 昌, 伊藤道夫 (代相原), 川口輝夫 (代菅原), 木村 稔, 篠原 清 (代二ノ丸), 杉木六郎, 関 慎吾, 樋口芳郎, 丸安隆和 (代小林), 三浦一郎, 水越達雄, 山田順治。議事: 現在専門委員会で審議中の高炉セメントおよびフライアッシュ セメントの内容について土木方面の意見を聞き, 次のように意見をまとめた。(1) 高炉セメントについて: 分類, 強さについて原案を認める。ただし, 中庸熟高炉セメントにつきただし書きをつける。(2) フライアッシュ セメントについて: 分類, 強さについて原案を認める。ただし, 混入するフライアッシュの質, 量につき注意してもらう。

13. 第1回プレレストレスト コンクリート設計施工指針改訂委員会 (昭.35.5.24) 出席者: 国分委員長, 菅原, 宮崎 (義), 山田, 三浦, 川口, 木村 (代清野), 小寺, 樋口, 松野, 丹, 中村, 杢掛, 上前, 宮崎 (昭), 小田, 野口の各委員, 井上幹事, 船越, 高倉の両氏。議事: 1) 国分委員長より今度の改訂につき説明。2) 改訂原案につき1条~18条まで逐条審議した。3) 今度, 委員に高倉 (北海道PS), 幹事として船越 (東大) の両氏を追加委嘱する。4) 次回委員会を6月8日 (水) 午後1時30分に開催する事に決定。5) その他のセメント規格についても議論された。

14. 第1回構造物耐震設計研究委員会幹事会 (昭.35.5.26) 出席者: 田原委員, 久保幹事長, 伊藤, 池田, 大地, 橘高, 後藤 尚 (代渡部), 小寺, 笹沼, 白石, 土居, 野沢, 伯野, 三木, 御牧 (代加藤), 森本 (代横山), 松野, 永尾の各幹事。議事: 1) 今年度の事業計画について: 国鉄で設計上不明確なものについて研究所で模型実験を行なう等を審議, 2) 水平力の受け方による高架橋の分類 (資料No. 37) について審議。

15. 第2回土木技術者資格研究委員会 (昭.35.5.25) 出席者: 鈴木委員長, 尾之内, 久保, 佐藤, 篠原 (代富沢), 清野 (代金勝), 高畑, 武井 (代林), 西松 (代小池), 比企, 平山, 小林の各委員, 樽井幹事, 末森専務理事。議事: 1) 平山委員より技術士試験に関する詳細な説明があつたのち, これにもとづいて土木士試験との関係について種々討議した。次回までに建設省において (港湾局と連絡して) 技術士の建設部門に関するいろいろの問題を研究すること。2) 建築士法, 建築基準法および同施行令中特に土木士と関連ある問題点について討議, 次回までに土木士として支障のある問題点を具体的に摘出すること。3) 次回6月22日17.30時とする。

16. 水理委員会 (昭.35.5.27 大隈会館において) 出席者: 本間, 林, 伊藤, 久宝, 柴原, 嶋, 米元, 大坪 (代岸), 岩垣, 田中 (清), 田中 (茂), 永井, 矢野, 小川, 篠

原の各委員, 吉川幹事長。議事: 1) 本年度水理学研究の現況を手配すること。2) 幹事長 吉川秀夫君を千秋信一君と交代。3) 水理委員会委員長の交代については安芸委員長と相談すること。4) 水理公式集の改訂については別の委員会を設けて改訂に着手すること。5) 地球物理学連合の連絡幹事は千秋信一君とする。

◎その他

1. 第15回年次学術講演会 (昭.35.5.28~29 早稲田大学において)

第1日	第1会場	土質および基礎工学	14題	参加者約180名
	第2会場	橋梁 および 構造学	15題	" 約220名
	第3会場	水理学および水文学	13題	" 約90名
	第4会場	コンクリート	15題	" 約120名
	第5会場	応用力学	14題	" 約60名
第2日	第1会場	土質および基礎工学	24題	" 約180名
	第2会場	橋梁 および 構造学	29題	" 約200名
	第3会場	水理学, 港湾	22 ₉ 題	" 約150名
	第4会場	コンクリート4, 材料2, 道路11, 都計3, 鉄道11	31題	" 約180名
	第5会場	応力4, 発電水力ダム6, 衛生12, 河川砂防8	30題	" 約120名

総合講演は6題を5会場において順次講述され各会場とも約250名の盛況であつた。

2. 会員懇親午餐パーティー (昭.35.5.28 大隈会館において) 参加者139名。

3. 第15回水理研究会講演会 (昭.35.5.27 大隈小講堂において) 出題: 流出に関するもの15題, サージングに関するもの3題, 参加者約160名。各題の討議を交え盛況であつた。

4. コンクリート懇談会 (昭.35.5.28 大隈会館において) 参加者58名。コンクリート示方書を中心に討議された。

5. 見学会 (昭.35.5.30~31) A班: 京葉道路, 川崎製鉄千葉製鉄所, 東京電力千葉火力, 千葉港埋立工事, 房総一周。参加者77名。B班: 首都高速道路, 東京地下鉄工事, 砂町下水処理場, 参加者108名。C班: いすゞ自動車, 川西モーター, 小松製作所, 三菱日本重工業各工場。参加者44名。

支 部 だ よ り

1. 中部支部

(1) **第2回幹事会** (昭.35.5.10 名古屋市千草荘) 出席者: 渡辺幹事長, 小寺, 後藤 (代), 高橋, 高田, 富永, 加藤, 宇佐見, 粟田, 北原, 滝淵, 藤本 (代), 松久 (代), 土方, 倉田, 長坂, 白井, 鈴木 (和), 菊田の各幹事。

(2) **第1回見学会** (昭.35.5.22)

1) 見学先: 関西電力読書第二水力発電所工事現場 (長野県西筑摩郡吾妻村)

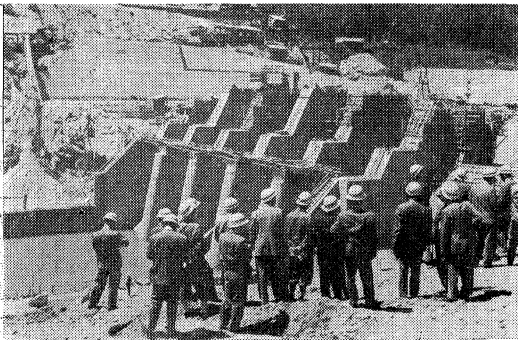
2) 参加者: 81名

3) 経 過：国鉄中央線野尻駅で下車，付近の公民館で東建設所長の工事概況の説明を聞き，バス2台に分乗してえん堤，地下発電所等約10kmにわたる現場を見学三留野駅前解散。晴天にめぐまれ盛会であった。

読書水力発電所見学風景



同上工事現場



2. 関西支部

(1) PCコンクリート工法講演会(昭.35.5.17 大阪クラブ3階ホール)

演題および講師

ディバダーク工法による新しい構造物について —映画スライド等併用—

ディカーホーフ・ビドマン社 Dr. Ing. ハイ
ンツ・ネーゼ

土木学会関西支部はプレストレストコンクリート技術協会主催の上記講演会に建築学会近畿支部とともに後援したが参加者130名で盛況であった。

(2) 第33回通常総会(昭.35.5.20 中央電気倶楽部)出席者64名。

1) 昭和34年度事業および会計報告

2) 新役員選挙結果の報告は次のとおりで決定

地区常議員(昭.35.36年度)

岩井重久(京都大学教授)

近藤 勇(神戸高速鉄道KK
常務取締役)

三宅静太郎(大阪府土木部長)

近藤新支部長



支部長(昭.35年度)近藤 勇

商議員(昭.35.36年度)

赤井浩一(京大)，赤尾親助(阪大)，大山 忠(国鉄)，川島 普(阪工大)河盛孝夫(道路公団)，黒川 存(国鉄)，小西次郎(南海電鉄)，篠原 幹(京都市)竹元千多留(大阪府)，谷 朝男(神戸市)，長谷川幹一(大阪市)，三上 恒(佐伯建設)水野俊一(阪市大)，水野福太郎(大阪市)，山下博通(第三港建)，吉田博一(道路公団)。

3) 幹事長 小西一郎(京大，重任)

4) 幹 事

石田 聖(鹿島建設)，伊藤富雄(阪大)，井部勇一(近畿地建)，中川貞雄(大林組)，以上重任

打田富雄(国鉄)，大村 裕(神大)，岡田 清(京大)，北村誠一(大阪市)，小林嘉道(兵庫県)，宮崎虎太郎(大阪府)，毛利正光(阪市大)，以上新任

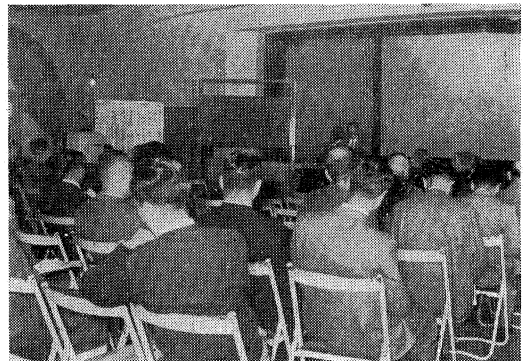
5) 来賓挨拶 土木学会専務理事 末森猛雄

6) 支部長挨拶 前支部長 江口 馨，新支部長 近藤 勇

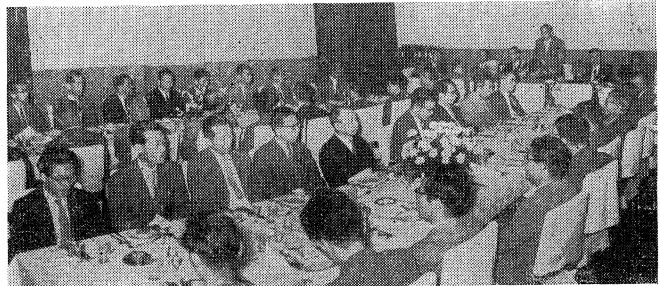
7) 講 演

ヨーロッパの基礎工法を視察して 不動建設KK社
長 庄野 勝

第33回通常総会会場



第33回通常総会当日の懇親会風景



8) 映 画 1.第八の海，2.日本の宝

(3) 会員懇親会(昭.35.5.20 中央電気倶楽部)

総会終了後会員懇親会を開催，末森専務理事を迎え歓談1時間30分にわたり非常に盛会であった。参加者49名。